
経済 TOPICS

No. 214
(2023年4月20日)

景気ウォッチング（要旨）

- 日本 … 日本の実体経済は、消費の緩やかな持ち直しが続いているものの、生産がやや弱めの動きとなっているほか、輸出や設備投資が横這い圏内の動きにとどまっていることから、全体としては持ち直しの動きが足踏みしている。この間、資源・食料価格の高騰に伴う物価上昇や欧米の一部銀行の経営破綻の影響が懸念されるなど、先行き不透明感の強い状態が続いている。
- 米国 … 生産や設備投資が横這い圏内の動きになるなど、金融引締めの影響が徐々に顕在化しているが、消費は底堅いほかタイトな雇用環境が続くなど、全体としては緩やかに回復を続けている。この間、シリコンバレー銀行の破綻などの影響が懸念されている。消費者物価は、エネルギー価格の落ち着きなどからピークアウトしているが、サービス価格の上昇圧力が続いている。
- 欧州 … 生産は底堅いものの、輸出が減少に転じ、消費や設備投資の前年比プラス幅が縮小するなど、持ち直しの動きが弱まっている。この間、クレディ・スイス銀行の経営問題の影響が懸念されている。消費者物価は、エネルギー価格は落ち着いてきたものの、その他の物価上昇が続いているため、インフレが継続している。
- 中国 … 消費や輸出が持ち直しに転じているが、生産が弱いほか、不動産開発投資が大幅に減少していることから、全体としては減速し続けている。この間、景況感ゼロコロナ政策の転換に伴い改善している。



京都銀行グループ

京都総合経済研究所
